

平成26年2月14日

各 位

会 社 名 山下医科器械株式会社

代表者名 代表取締役社長 山下 尚登

(コード番号：3022 東証第一部)

問合せ先 取締役執行役員管理本部長 伊藤 秀憲

(TEL. 092-726-8200)

(訂正)「平成22年5月期 第1四半期決算短信」の一部訂正について


当社は、平成25年12月25日付適時開示「当社従業員による不正行為に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成21年9月30日付「平成22年5月期 第1四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__
を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

(財)財務会計基準機構会員 

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年9月30日

上場会社名 山下医科器械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3022 URL http://www.yamashitaika.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 伊藤 秀憲 TEL 092-726-8200
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績 (平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	8,848	7.7	△18	—	△9	—	△5	—
21年5月期第1四半期	8,212	—	△142	—	△128	—	△89	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	△2.17	—
21年5月期第1四半期	△35.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	13,881	5,006	36.1	1,961.57
21年5月期	14,831	5,056	34.1	1,981.06

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 5,006百万円 21年5月期 5,056百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	—	—	30.00	30.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	18,459	9.8	52	82.5	88	45.4	52	296.6	20.59
通期	38,876	6.8	256	26.6	326	18.2	177	64.4	69.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
新規 — 社（社名） 除外 — 社（社名）
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22年5月期第1四半期 | 2,553,000株 | 21年5月期 | 2,553,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第1四半期 | 776株 | 21年5月期 | 770株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年5月期第1四半期 | 2,552,227株 | 21年5月期第1四半期 | 2,552,921株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨秋以後の世界経済の急激な後退局面から、輸出の回復等による景気の底打ち感が見られる一方、雇用情勢の悪化や設備投資の縮小等、内需停滞要因は一段と強まり引き続き不安定な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、景気後退の影響を直接的に受けるものではないものの、昨年4月の診療報酬改定の影響等により、医療機関を取り巻く環境は依然として厳しいものであり、当社グループが属する医療機器販売業界内での競争もより一層激化傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは、平成20年7月に発表いたしました中期経営計画「Re-Growth10」の中間年度となります今年度は、本部の営業支援体制を充実させ、本部と営業部門の連携を高めながら、中核事業基盤の拡大・強化に取り組んでおります。

売上高につきましては、医療機器部門のうち一般機器分野では、理化学備品の売上増加等により15億51百万円（前年同四半期比18.0%増）となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設や既存取引医療機関への医療機器消耗品の販売拡大等により44億33百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。低侵襲治療分野では、I V E（内視鏡処置用医療材料）等の消化器内視鏡製品の売上増加等により19億63百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。メディカルサービス分野では、画像診断機器の売上増加や医療設備の受注増加等により6億95百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。この結果、医療機器部門の売上高は86億43百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

また、医療情報部門におきましては、画像総合管理システム等の新規受注はあったものの情報機器の売上減少により2億5百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は88億48百万円（前年同四半期比7.7%増）となり、利益面につきましては、売上総利益率が期初予想を下回ったことから、営業損失は18百万円（前年同四半期は1億42百万円の営業損失）、経常損失は9百万円（前年同四半期は1億28百万円の経常損失）、四半期純損失は5百万円（前年同四半期は89百万円の四半期純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は138億81百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億49百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少、金銭信託購入による有価証券の増加等により97億50百万円となりました。固定資産は、株式相場の上昇による投資有価証券の増加、大分遊休地の売却による土地の減少等により41億31百万円となりました。

（負債の部）

負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて9億円減少し、88億74百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて49百万円減少し、50億6百万円となり、自己資本比率は36.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により17億40百万円減少し、投資活動により31百万円減少し、財務活動により4億34百万円増加いたしました。この結果、資金残高は前連結会計年度末から13億37百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末残高は14億20百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、営業活動により減少した資金は17億40百万円（前年同四半期は18億39百万円の減少）となりました。

主な要因としましては、仕入債務10億86百万円の減少、賞与引当金1億81百万円の減少、売上債権2億86百万円の増加等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、投資活動により減少した資金は31百万円（前年同四半期は1億57百万円の減少）となりました。

主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出が53百万円、大分遊休地売却による収入が25百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、財務活動により増加した資金は4億34百万円（前年同四半期は62百万円の減少）となりました。

主な要因としましては、短期借入金5億円の発生、株主配当金65百万円の支出等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月期の連結業績予想につきましては、平成21年7月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（不正取引及び不適切な会計処理について）

当社において、不正行為の疑いが生じたことから、社内調査チームを設置して調査を実施するとともに社外の専門家を含めた調査委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不正行為及び不適切な会計処理が行われておりました。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	620,679	2,257,959
受取手形及び売掛金	6,521,622	6,234,832
有価証券	800,000	500,000
商品	1,483,827	1,385,566
その他	332,285	359,357
貸倒引当金	<u>△8,353</u>	<u>△8,434</u>
流動資産合計	<u>9,750,061</u>	<u>10,729,282</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,498,814	2,498,814
減価償却累計額	△788,043	△755,357
建物及び構築物（純額）	<u>1,710,771</u>	<u>1,743,457</u>
土地	1,491,053	1,498,388
建設仮勘定	65,082	23,738
その他	594,980	588,020
減価償却累計額	△463,811	△448,425
その他（純額）	<u>131,169</u>	<u>139,595</u>
有形固定資産合計	<u>3,398,077</u>	<u>3,405,180</u>
無形固定資産	143,143	150,638
投資その他の資産	<u>590,018</u>	546,081
固定資産合計	<u>4,131,238</u>	<u>4,101,900</u>
資産合計	<u>13,881,300</u>	<u>14,831,183</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,460,869	8,547,839
短期借入金	500,000	—
未払法人税等	8,196	179,404
賞与引当金	80,113	261,548
その他	<u>494,787</u>	<u>475,234</u>
流動負債合計	<u>8,543,966</u>	<u>9,464,026</u>
固定負債		
退職給付引当金	111,098	116,269
その他	219,865	194,766
固定負債合計	<u>330,964</u>	<u>311,036</u>
負債合計	<u>8,874,930</u>	<u>9,775,062</u>

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,605	627,605
利益剰余金	<u>3,761,147</u>	<u>3,843,241</u>
自己株式	△824	△818
株主資本合計	<u>4,881,952</u>	<u>4,964,052</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	124,417	92,068
評価・換算差額等合計	<u>124,417</u>	<u>92,068</u>
純資産合計	<u>5,006,369</u>	<u>5,056,120</u>
負債純資産合計	<u>13,881,300</u>	<u>14,831,183</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	8,212,247	8,848,551
売上原価	7,206,065	7,750,296
売上総利益	1,006,181	1,098,255
販売費及び一般管理費	1,148,414	1,116,738
営業損失(△)	△142,232	△18,482
営業外収益		
受取利息	2,691	479
受取配当金	1,457	647
仕入割引	11,104	10,577
受取手数料	1,723	1,941
その他	6,930	2,676
営業外収益合計	23,908	16,322
営業外費用		
支払利息	1,079	692
不正関連損失	6,145	5,061
その他	2,809	1,516
営業外費用合計	10,034	7,270
経常損失(△)	△128,358	△9,431
特別利益		
固定資産売却益	—	18,489
貸倒引当金戻入額	126	82
特別利益合計	126	18,572
特別損失		
訴訟和解金	—	3,836
特別損失合計	—	3,836
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△128,232	5,303
法人税、住民税及び事業税	12,365	5,091
法人税等調整額	△51,296	5,739
法人税等合計	△38,930	10,831
少数株主利益	77	—
四半期純損失(△)	△89,379	△5,527

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△128,232	5,303
減価償却費	29,592	58,846
貸倒引当金の増減額(△は減少)	208	2,932
賞与引当金の増減額(△は減少)	116,697	△181,434
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,595	△5,170
受取利息及び受取配当金	△4,149	△1,126
支払利息	1,079	692
固定資産売却損益(△は益)	—	△18,489
売上債権の増減額(△は増加)	36,524	△286,789
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,858	△98,261
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,836,311	△1,086,970
その他	△12,133	40,101
小計	△1,774,461	△1,570,366
利息及び配当金の受取額	4,197	2,067
利息の支払額	△786	△725
法人税等の支払額	△68,334	△171,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,839,385	△1,740,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,392	△53,041
有形固定資産の売却による収入	—	25,824
無形固定資産の取得による支出	△46,531	△3,279
投資有価証券の取得による支出	△855	△719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,779	△31,215
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	500,000
配当金の支払額	△62,027	△65,682
自己株式の取得による支出	—	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,027	434,310
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,059,192	△1,337,280
現金及び現金同等物の期首残高	3,818,483	2,757,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,759,291	1,420,679

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

当社および連結子会社の事業は、医療機器販売業の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントがないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

当社および連結子会社の事業は、医療機器販売業の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントがないため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。

6. その他の情報

仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

仕入実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門		前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	前年同四 半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器 部門	機 器	<u>2,284,068</u>	<u>2,575,248</u>	<u>112.7</u>
	消耗品	<u>4,722,141</u>	<u>5,048,718</u>	106.9
	小 計	<u>7,006,209</u>	<u>7,623,966</u>	108.8
医療情報部門		174,784	138,497	79.2
合 計		<u>7,180,994</u>	<u>7,762,463</u>	108.1

(注) 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。


(2) 販売実績

販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門		前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	前年同四 半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器 部門	一般機器分野	<u>1,313,958</u>	<u>1,551,039</u>	<u>118.0</u>
	一般消耗品分野	<u>4,201,897</u>	<u>4,433,190</u>	105.5
	低侵襲治療分野	<u>1,771,030</u>	<u>1,963,883</u>	<u>110.9</u>
	メディカルサービス分野	671,959	695,276	103.5
	小 計	<u>7,958,846</u>	<u>8,643,391</u>	108.6
医療情報部門		253,401	205,160	81.0
合 計		<u>8,212,247</u>	<u>8,848,551</u>	107.7

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(訂正前)

(財)財務会計基準機構会員 

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年9月30日

上場会社名 山下医科器械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3022 URL http://www.yamashitaika.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 伊藤 秀憲 TEL 092-726-8200
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績 (平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	8,855	7.7	△12	—	2	—	4	—
21年5月期第1四半期	8,220	—	△139	—	△119	—	△80	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	1.86	—
21年5月期第1四半期	△31.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	13,884	5,090	36.7	1,994.46
21年5月期	14,833	5,129	34.6	2,009.92

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 5,090百万円 21年5月期 5,129百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	—	—	30.00	30.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	18,459	9.6	52	49.2	88	12.6	52	70.9	20.59
通期	38,876	6.7	256	19.3	326	6.1	177	26.9	69.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
新規 — 社（社名） 除外 — 社（社名）
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22年5月期第1四半期 | 2,553,000株 | 21年5月期 | 2,553,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第1四半期 | 776株 | 21年5月期 | 770株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年5月期第1四半期 | 2,552,227株 | 21年5月期第1四半期 | 2,552,921株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨秋以後の世界経済の急激な後退局面から、輸出の回復等による景気の底打ち感が見られる一方、雇用情勢の悪化や設備投資の縮小等、内需停滞要因は一段と強まり引き続き不安定な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、景気後退の影響を直接的に受けるものではないものの、昨年4月の診療報酬改定の影響等により、医療機関を取り巻く環境は依然として厳しいものであり、当社グループが属する医療機器販売業界内での競争もより一層激化傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは、平成20年7月に発表いたしました中期経営計画「Re-Growth10」の中間年度となります今年度は、本部の営業支援体制を充実させ、本部と営業部門の連携を高めながら、中核事業基盤の拡大・強化に取り組んでおります。

売上高につきましては、医療機器部門のうち一般機器分野では、理化学備品の売上増加等により15億53百万円（前年同四半期比17.5%増）となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設や既存取引医療機関への医療機器消耗品の販売拡大等により44億35百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。低侵襲治療分野では、I V E（内視鏡処置用医療材料）等の消化器内視鏡製品の売上増加等により19億66百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。メディカルサービス分野では、画像診断機器の売上増加や医療設備の受注増加等により6億95百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。この結果、医療機器部門の売上高は86億50百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

また、医療情報部門におきましては、画像総合管理システム等の新規受注はあったものの情報機器の売上減少により2億5百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は88億55百万円（前年同四半期比7.7%増）となり、利益面につきましては、売上総利益率が期初予想を下回ったことから、営業損失は12百万円（前年同四半期は1億39百万円の営業損失）、経常利益は2百万円（前年同四半期は1億19百万円の経常損失）、四半期純利益は4百万円（前年同四半期は80百万円の四半期純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は138億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億48百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少、金銭信託購入による有価証券の増加等により97億54百万円となりました。固定資産は、株式相場の上昇による投資有価証券の増加、大分遊休地の売却による土地の減少等により41億30百万円となりました。

（負債の部）

負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて9億9百万円減少し、87億94百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて39百万円減少し、50億90百万円となり、自己資本比率は36.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により17億40百万円減少し、投資活動により31百万円減少し、財務活動により4億34百万円増加いたしました。この結果、資金残高は前連結会計年度末から13億37百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末残高は14億20百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、営業活動により減少した資金は17億40百万円（前年同四半期は18億39百万円の減少）となりました。

主な要因としましては、仕入債務10億86百万円の減少、賞与引当金1億81百万円の減少、売上債権2億88百万円の増加等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、投資活動により減少した資金は31百万円（前年同四半期は1億57百万円の減少）となりました。

主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出が53百万円、大分遊休地売却による収入が25百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、財務活動により増加した資金は4億34百万円（前年同四半期は62百万円の減少）となりました。

主な要因としましては、短期借入金5億円の発生、株主配当金65百万円の支出等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月期の連結業績予想につきましては、平成21年7月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	620,679	2,257,959
受取手形及び売掛金	6,529,857	6,240,910
有価証券	800,000	500,000
商品	1,483,827	1,385,566
その他	328,809	355,882
貸倒引当金	△8,358	△8,440
流動資産合計	<u>9,754,815</u>	<u>10,731,879</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,498,814	2,498,814
減価償却累計額	△788,043	△755,357
建物及び構築物(純額)	<u>1,710,771</u>	<u>1,743,457</u>
土地	1,491,053	1,498,388
建設仮勘定	65,082	23,738
その他	594,980	588,020
減価償却累計額	△463,811	△448,425
その他(純額)	<u>131,169</u>	<u>139,595</u>
有形固定資産合計	<u>3,398,077</u>	<u>3,405,180</u>
無形固定資産	143,143	150,638
投資その他の資産	588,799	546,081
固定資産合計	<u>4,130,020</u>	<u>4,101,900</u>
資産合計	<u>13,884,836</u>	<u>14,833,779</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,460,869	8,547,839
短期借入金	500,000	—
未払法人税等	8,196	179,404
賞与引当金	80,113	261,548
その他	414,389	404,162
流動負債合計	<u>8,463,568</u>	<u>9,392,954</u>
固定負債		
退職給付引当金	111,098	116,269
その他	219,865	194,766
固定負債合計	<u>330,964</u>	<u>311,036</u>
負債合計	<u>8,794,532</u>	<u>9,703,990</u>

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,605	627,605
利益剰余金	<u>3,845,080</u>	<u>3,916,909</u>
自己株式	△824	△818
株主資本合計	<u>4,965,885</u>	<u>5,037,720</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	124,417	92,068
評価・換算差額等合計	124,417	92,068
純資産合計	<u>5,090,303</u>	<u>5,129,788</u>
負債純資産合計	<u>13,884,836</u>	<u>14,833,779</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	8,220,526	8,855,762
売上原価	7,211,315	7,754,098
売上総利益	1,009,210	1,101,663
販売費及び一般管理費	1,148,414	1,113,723
営業損失(△)	△139,203	△12,059
営業外収益		
受取利息	2,691	479
受取配当金	1,457	647
仕入割引	11,104	10,577
受取手数料	1,723	1,941
その他	6,930	2,676
営業外収益合計	23,908	16,322
営業外費用		
支払利息	1,079	692
その他	2,809	1,516
営業外費用合計	3,889	2,209
経常利益又は経常損失(△)	△119,183	2,053
特別利益		
固定資産売却益	—	18,489
貸倒引当金戻入額	126	82
特別利益合計	126	18,572
特別損失		
訴訟和解金	—	3,836
特別損失合計	—	3,836
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△119,057	16,788
法人税、住民税及び事業税	12,365	5,091
法人税等調整額	△51,296	6,958
法人税等合計	△38,930	12,050
少数株主利益	77	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△80,204	4,738

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△119,057</u>	<u>16,788</u>
減価償却費	29,592	58,846
貸倒引当金の増減額(△は減少)	208	<u>△82</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	116,697	△181,434
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,595	△5,170
受取利息及び受取配当金	△4,149	△1,126
支払利息	1,079	692
固定資産売却損益(△は益)	—	△18,489
売上債権の増減額(△は増加)	<u>36,447</u>	<u>△288,946</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,858	△98,261
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,836,311	△1,086,970
その他	<u>△21,231</u>	<u>33,788</u>
小計	<u>△1,774,461</u>	<u>△1,570,366</u>
利息及び配当金の受取額	4,197	2,067
利息の支払額	△786	△725
法人税等の支払額	△68,334	△171,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,839,385</u>	<u>△1,740,375</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,392	△53,041
有形固定資産の売却による収入	—	25,824
無形固定資産の取得による支出	△46,531	△3,279
投資有価証券の取得による支出	△855	△719
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△157,779</u>	<u>△31,215</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	500,000
配当金の支払額	△62,027	△65,682
自己株式の取得による支出	—	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△62,027</u>	<u>434,310</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△2,059,192</u>	<u>△1,337,280</u>
現金及び現金同等物の期首残高	3,818,483	2,757,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>1,759,291</u>	<u>1,420,679</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

当社および連結子会社の事業は、医療機器販売業の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントがないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

当社および連結子会社の事業は、医療機器販売業の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントがないため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。

6. その他の情報

仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

仕入実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門		前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	前年同四 半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器 部門	機 器	2,289,172	2,577,935	112.6
	消耗品	4,722,286	5,049,833	106.9
	小 計	7,011,459	7,627,769	108.8
医療情報部門		174,784	138,497	79.2
合 計		7,186,243	7,766,266	108.1

(注) 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門		前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	前年同四 半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器 部門	一般機器分野	1,321,769	1,553,581	117.5
	一般消耗品分野	4,202,216	4,435,041	105.5
	低侵襲治療分野	1,771,178	1,966,702	111.0
	メディカルサービス分野	671,959	695,276	103.5
	小 計	7,967,124	8,650,601	108.6
医療情報部門		253,401	205,160	81.0
合 計		8,220,526	8,855,762	107.7

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。